

令和6年6月24日



# 株式会社ゆで太郎システム 御中

ゆで太郎夢基金

令和5年度充当報告及び令和6年度充当計画案



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 令和5年度に寄せられた寄付金 累計1,945万3,031円(令和6年3月末現在)

寄付法人	寄付日	寄付金額
株式会社ゆで太郎システム	2023年4月18日	1,634,034
株式会社オリエンタル商事	2023年4月20日	3,185
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年4月28日	534
株式会社ゆで太郎システム	2023年5月18日	1,559,476
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年5月30日	358
株式会社ゆで太郎システム	2023年6月16日	1,617,396
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	2023年6月20日	58,857
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年6月20日	1,597
セイブショウジ株式会社	2023年6月28日	3,279
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年6月30日	56,842
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	2023年6月30日	415,874
株式会社ゆで太郎システム	2023年7月20日	1,568,039

令和5年度に寄せられた寄付金 累計1,945万3,031円(令和6年3月末現在)

寄付法人	寄付日	寄付金額
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年7月28日	404
株式会社ゆで太郎システム	2023年8月18日	1,609,455
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年8月30日	638
株式会社ゆで太郎システム	2023年9月19日	1,555,812
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年9月29日	400
株式会社ゆで太郎システム	2023年10月18日	1,543,147
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年10月30日	630
株式会社ゆで太郎システム	2023年11月22日	1,538,552
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年11月30日	359
株式会社ベネフレックス	2023年12月20日	1,990
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	2023年12月20日	76,006
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年12月20日	5,545

令和5年度に寄せられた寄付金 累計1,945万3,031円(令和6年3月末現在)

寄付法人	寄付日	寄付金額
株式会社ゆで太郎システム	2023年12月21日	1,517,943
セイブショウジ株式会社	2023年12月28日	2,957
サントリービバレッジソリューション株式会社	2023年12月29日	66,270
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	2024年1月16日	235,514
株式会社ゆで太郎システム	2024年1月17日	1,568,320
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年1月30日	364
株式会社ゆで太郎システム	2024年2月15日	1,384,955
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年2月29日	307
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年3月29日	340
株式会社ゆで太郎システム	2024年3月31日	1,423,652

## 令和5年度 ゆで太郎夢基金による充当事業

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	745万3,031円
//	②医療チーム【救護班】の養成	400万円
//	③地域防災セミナーの開催	200万円
講習普及事業	④救急法等講習普及事業	200万円
青少年赤十字事業	⑤教育現場での防災教育の普及	200万円
社会福祉事業	⑥社会福祉施設の資機材整備	200万円
	合 計	1,945万3,031円

各充当事業の内容は、次ページ以降をご参照ください。

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

## ■ 国内災害救護事業

### ① 災害対応(事例:令和6年能登半島地震災害対応)

令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。日本赤十字社は1月2日から災害医療コーディネーターチーム及び救護班を現地に順次派遣し、被災者の手当てや診察などの救護活動を開始。

避難所だけでなく、医療支援が届きにくい孤立した集落や施設へ向けて巡回診療も行っています。

また、ボランティアの協力により毛布や安眠セット、簡易トイレなどの救援物資を配布しました。

1月4日からは義援金の受付口座を開設し、対応にあたっています。



早朝の救急外来で太腿の傷を縫合する医師

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

## ■ 国内災害救護事業

### ②医療チーム【救護班】の養成

国内における自然災害は、近年、頻発化・激甚化・広域化する傾向にあります。そのため、災害医療コーディネート体制の充実や感染症対策の徹底、こころのケア活動の推進など、さらなる救護活動の強化が求められています。

令和5年度は、最新の被害想定を踏まえ、救護班などの派遣計画の修正を行うとともに、新たな救護員育成体系構築に向けた研修教材の作成等を行いました。

継続的に救護訓練及び研修を実施し、救護員の更なるスキルアップと新たな要員確保に努めています。



全国赤十字救護班研修会の様子(宮城県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

## ■ 国内災害救護事業

### ③ 地域防災セミナーの開催

日本赤十字社防災教育事業(赤十字防災セミナー)は、東日本大震災など過去の災害の教訓を踏まえ、地域住民が自ら災害からいのちを守ることができるよう、全国で開催しています。

近年の頻発化・激甚化・広域化する豪雨災害の影響等により、令和5年度は大雨・土砂災害をはじめとしたカリキュラムを普及する機会が全国的に増加しました。

自宅の安全対策を確認する「家具安全対策ゲーム(KAG)」や「おうちのキケン」、避難所生活を考える「ひなんじょたいけん」などの新カリキュラムも導入し、今後全国展開を目指します。救急法受講者とあわせ、令和5年度の受講合計数は約40万人に達しました。



意見交換を行うセミナー参加者(沖縄県)



夢基金を次の事業に充当させていただきました。

## ■ 青少年赤十字事業

### ④教育現場での防災教育の普及

青少年赤十字では、学校教育の中で活動する強みを生かし、小学生・中学生・高校生向けの防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」、幼稚園・保育所向けの「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」の普及を続けています。

一例として熊本県支部では中学校で青少年赤十字活動に取り組む子どもたちに、リーダーとして必要な自主・自律の精神を身につけてもらうことを目的として開催した「リーダーシップ・トレーニング・センター」において、「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用しました。

本教材の活用により、多くの子どもたちが防災の知識を得ることにとどまらず、いざというときに自分のいのちをまもり、他者のいのちを大切にするための行動力を身に着けています。



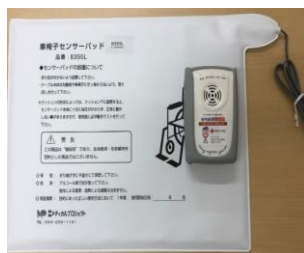
防災教育を通して自主・自律の精神を学ぶ(熊本県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

## ■ 社会福祉事業

### ⑤ 社会福祉施設の資機材整備

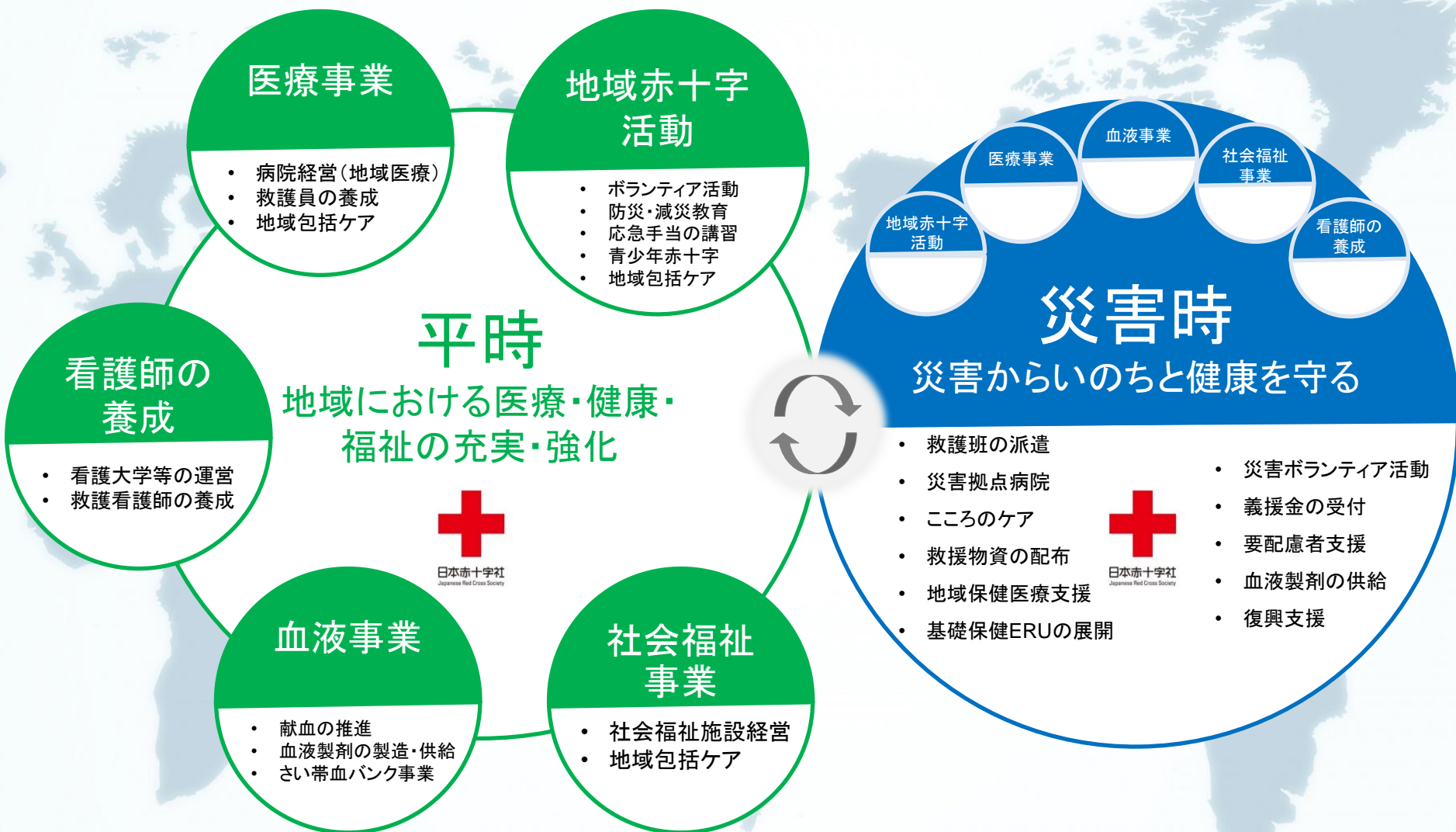
日本赤十字社総合福祉センター(通称:レクロス)の資機材を整備するために使わせていただいております。令和5年度に整備させていただいた資機材は以下のとおりです。



車椅子6台、入浴用車椅子1台、車椅子センサー2個、歩行車2台、マットレス2個、電動ベッド1台

## 令和6年度 ゆで太郎夢基金による充当計画(案)

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	600万円
//	②医療チーム【救護班】の養成	400万円
//	③地域防災セミナーの開催	200万円
講習普及事業	④救急法等講習普及事業	200万円
青少年赤十字事業	⑤教育現場での防災教育の普及	200万円
社会福祉事業	⑥社会福祉施設の資機材整備	200万円
	合 計	1,800万円



災害マネジメントサイクル全体への対応